

川島学園が設置する学校に係る部活動の方針

※ 本学園の部活動は、「誠実にして忍耐強い産業人の育成」という建学の精神を体得するため、校訓「不屈不撓」のもと、徳育・知育・体育の均衡ある全人教育を通じて個性と能力を伸ばすことを目的とする。

そのためには「凡事の徹底」つまり「当たり前のことを当たり前に行える人づくり」を基本とする。

1. 礼儀・礼節（語先後礼）・言葉づかい
2. 整理整頓
3. 時を守る（時間厳守）

- ① 「目標とする勝利に向けての活動」を主として、勝敗による自己研鑽やP D C A【Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すこと】を常に意識することにより、その成果として生まれる技能向上はもとより、心身の練磨を図り、将来有為な社会人となるための基礎力を形成すること。
- ② 本学園として魅力ある学校づくり（「進学」「就職」「部活動」の充実）を行うためには、「部活動を通じた全人教育」もそのひとつである。
人物的に他の模範となりうる学園奨学生が、魅力ある学校づくりのためにも、率先して学業・部活動を含めた学園生活全般をリードするよう指導すること。
〔「全人教育」とは、知識・技術に偏することなく、感性・徳性なども重視して人間性を全面的・調和的に発達させることを目的とする教育をいう。〕
- ③ 指導者として威厳を保ちつつも、コミュニケーションを図りながら、部員の動向をしっかりと注視し、信頼関係を構築すること。
- ④ 部員がどのような状況下にあるかを把握し、部員の意見も聴取（尊重）しながら向上心を養うため問題解決に臨むこと。
- ⑤ 体罰やそれに類する言動は厳に慎むこと。
- ⑥ 活動時間や休養日の設定については、トレーナーなどとも相談をするとともに、県の方針も参考にしながら、指導者の判断で適宜設けること。
なお、指導者の休養日に関しては、就業規則により代休を取得するなど対応すること。
- ⑦ 年間スケジュールは、シーズン中・シーズンオフ等を考慮しながら設定し、計画すること。
- ⑧ 顧問及び部活動指導者は、年度当初の保護者会等を通じて、担当する部活動に係る活動方針や年間活動計画等について、保護者等に周知し協力を得ること。

令和2年4月
学校法人 川島学園